

1 月 11 日にプランクトン調査（播磨灘）を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒の原因となるアレキサンドリウム属の出現が 8 地点で確認されました。
- ・魚毒性を示す有害プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・ユーカンピア ゾディアクス の出現が確認されました。
- ・その他の小型珪藻類は、主にキートセロス属が播磨灘全域で確認されました（最高 170 細胞/mL）。

表：2023 年 1 月 11 日 プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	アレキサンドリウム属	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ユーカンピア・ゾディアクス
KA1	0	<u>0.3</u>	0.0	0.0	0.0	0.0
	10	<u>0.2</u>	0.0	0.0	0.0	1.1
KA2	0	<u>0.2</u>	0.0	0.0	0.0	2.6
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
KA3	0	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	4.3
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7
KA4	0	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
KA5	0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.2
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	59.0
KA6	0	<u>0.2</u>	0.0	0.0	0.0	50.1
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5
KA7	0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.1
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4
K1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3
	10	<u>0.2</u>	0.0	0.0	0.0	14.6
K2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8
	10	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	4.5
K4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.5
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	49.5
T3	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
屋島湾	0	<u>0.1</u>	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

\* 試水は 200mL を 10 mL に濃縮して、そのうち 1 mL 中のプランクトンを計数しています（20 倍濃縮）。

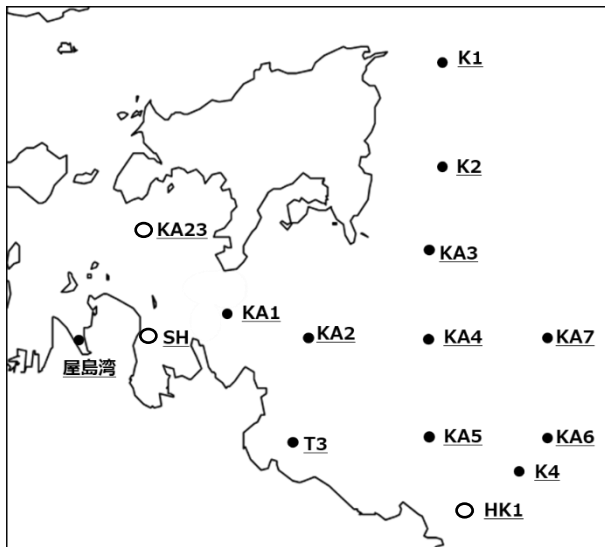
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所（担当：小川・松下） 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ（担当：和田・岡田） 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



\* 貝毒プランクトン調査は合計 12 定点 (KA1~7、K1、2、4、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
<b>At complex (旧) <i>A. tamarense</i></b> (旧称)アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
<b>At complex(旧) <i>A. catenella</i></b> (旧称)アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL